

イノベーションリズムの取組について

2020年10月 福島イノベ倶楽部

交流人口の拡大に向けたこれまでの取組

- 浜通り地域等への来訪を希望する企業等へ対応するワンストップ窓口を担うコンシェルジュを配置し、研修や会議（MICE）等の需要開拓を実施。
- 拠点施設や構想について説明できる現地ガイドの養成やモデルツアーの試行など、来訪促進に向けた対応体制を整備。

<来訪拡大に向けた視察>

○コンシェルジュによるオーダーメイド視察（2019/4～）

・プログラムづくりや日程調整等を支援

オーダーメイドツアー	H30	H31	R2（予定）
対応件数	18	34	50
来訪者数	329	823	1,000

○「福島イノベーション・コースト構想」の拠点施設と地域の視察ツアー（モデルツアー）

モデルツアー	H30	H31	R2（予定）
来訪者(企業)数	53	68	45

福島イノベーション・コースト構想 オーダーメイド視察のご案内

福島イノベーション・コースト構想推進機構（イノ機構）では、福島イノベーション・コースト構想（イノ構想）の拠点施設や地域の視察ツアー（モデルツアー）の日程調整の支援に関する相談を受け付けています。視察や研修の際は、イノ機構コンシェルジュにお気軽にお問合せください。

イノ機構とは
東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域の産業を回復するため、当該地域の新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。農、林、水、漁、製造、サービス、建設の分野におけるプロジェクトの具体化を促進するために、産業振興・人材育成、交通・ICTの拡大等に取り組んでいます。

こんな目的におすすめ

社内の人材育成の充実 【社員育成】 ◎課題解決型の研修 【現地地域・施設視察】 ◎人材の観点で実施	新たな事業展開 【世界を見据えた経営戦略の視察】 ◎企業としての新たな事業展開 ◎風土での実証・社内イベントの実施 【企業視察】 ◎イノ機構企業への参画 ◎イノ機構企業との連携	その他の展開 【イノ機構・会議等の開催】 ◎企業間の関係の強化 【様々な場での関係への関与】 ◎県内外への関係の発信 ◎イベント等の関係のPR
--	---	---

1. 対象：イノ地域において主要に展示・販売・接客等の業務を行っている企業、団体、大学等高等教育機関
 2. 費用：視察とご来訪費用、宿泊・飲食費用、現地送迎入場料等の費用に負担はございません。イノ機構の研修費は別途です。現地ガイド、現地案内、現地送迎等に関するイノ機構職員コンシェルジュの費用がかかります。
 3. その他：旅行会社などを利用する場合は、協議の上、別途費用がかかります。また、送迎に利用する場合は、送迎費用がかかります。送迎に利用する場合は、送迎費用がかかります。送迎に利用する場合は、送迎費用がかかります。

※イノ地域とは、いわき市、相馬市、田代町、滝根町、川俣町、楡野町、富岡町、川内町、大熊町、双葉町、浪江町、飯沼町、飯野町の15市町村を指します。



第1回 法人・学生向け 福島イノベーション・コースト構想地域の視察ツアー 先端農業視察コース

福島イノベーション・コースト構想は、東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域の産業を回復するため、当該地域の新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。農、林、水、漁、製造、サービス、建設の分野におけるプロジェクトの具体化を促進するために、産業振興・人材育成、交通・ICTの拡大等に取り組んでいます。

2019年11月28日(木)～29日(金)
 参加費 15名 無料
 申し込み 2019年11月22日(木)まで
 申し込み先 福島県産業振興課 産業振興課 産業振興課 産業振興課

2019年11月21日(木)
 参加費 15名 無料
 申し込み 2019年11月15日(金)まで
 申し込み先 福島県産業振興課 産業振興課 産業振興課 産業振興課

※イノ機構法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構



第4回 法人・学生向け 福島イノベーション・コースト構想地域の視察ツアー 魔炉・ロボット産業視察コース

福島イノベーション・コースト構想は、東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域の産業を回復するため、当該地域の新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。農、林、水、漁、製造、サービス、建設の分野におけるプロジェクトの具体化を促進するために、産業振興・人材育成、交通・ICTの拡大等に取り組んでいます。

2020年1月27日(月)～28日(火)
 参加費 15名 無料
 申し込み 2019年12月20日(金)まで
 申し込み先 福島県産業振興課 産業振興課 産業振興課 産業振興課

2019年12月27日(金)
 参加費 15名 無料
 申し込み 2019年12月20日(金)まで
 申し込み先 福島県産業振興課 産業振興課 産業振興課 産業振興課

※イノ機構法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構



交流人口の拡大に向けたこれからの取組

県、イノベ機構、イノベ地域15市町村が地域と一体となり、東日本大震災・原子力災害伝承館を拠点とした交流人口拡大の視察ツアーや、イノベ地域各所に配置したモニュメントを活用したスタンプラリーなどを実施予定

複合災害の記録と教訓の収集・保存、調査・研究し、展示と研修を行う情報発信拠点「東日本大震災・原子力災害伝承館」

各所に配置したモニュメントを活用し、構想のPRや子どもをターゲットにしたクイズ・スタンプラリーを実施



設置モニュメント



専用ホームページ タブレットで表示されるクイズ (各施設で使用できるクーポンをプレゼント)

モニュメント設置場所(予定)

- 1 ワンダーファーム
- 2 いわき・ら・ら・ミュウ
- 3 道の駅よつくら港
- 4 道の駅そうま
- 5 セデツテかしま
- 6 道の駅南相馬
- 7 小高交流センター
- 8 とんやの郷
- 9 広野町二ツ沼総合公園
- 10 ナショナルトレーニングセンター「ヴィレッジ」
- 11 福島発電株式会社浜通り事務所
- 12 東京電力廃炉資料館
- 13 Cafe(カフェ) Amazon(アマゾン)
- 14 複合商業施設YO-TASHI
- 15 福島いこいの村なみえ
- 16 葛尾村復興交流館「あぜりあ」
- 17 あすびと福島
- 18 あぶくま鍾乳洞
- 19 道の駅までい館
- 20 スマートコミュニティ エネルギーセンター

複合災害を知る、学ぶ(展示コーナー)



震災前から震災当時、現在を通じて、大規模災害の恐ろしさとその後の復興の過程を学ぶことができます。

被災地へ行く、体感する(フィールドワーク)



津波や原子力災害で被災した施設や復興の状況を見て、学ぶためのツアーを行います。(オプション)

複合災害の話を聞く、共感する(語り部講話)



複合災害を経験した方々の生の声を聞き、当時の追体験ができます。

複合災害を考える、教訓を得る(研修プログラム)



来館団体のニーズを踏まえ、震災・防災に関係した様々な研修を提供します。(オプション)

*各画像はイメージです。



東日本大震災・原子力災害伝承館
年間入場者数5万人(目標)



福島イノベ倶楽部 交流人口拡大プロジェクトについて

○ **福島イノベ倶楽部 交流人口拡大プロジェクトとは**
今年9月20日にオープンした東日本大震災・原子力災害伝承館を訪れていただいた方々に、浜通り地域等を周遊するルートを提案し、各地域で飲食、宿泊、観光、物販、各種サービスを提供することによって、イノベツーリズム(イノベ構想の交流人口拡大の取組)の効果地域経済に波及させることを目的としています。

【会員の皆様への期待】

イノベツーリズム(福島イノベ構想の交流人口拡大の取組)に関連する以下の事業について、連携して取り組んでいただける会員の皆様に募集いたします。

(想定する事業)

- ・旅行商品販売
- ・バス、タクシー等の運行
- ・宿泊者の受け入れ
- ・ツアーガイドサービスの提供
- ・物販(農林水産物及び加工品、土産品等)
- ・各種サービスの提供(ドローン操縦体験等)
- ・イベントでの製品PR(スタンプラリーの景品提供等) など

※福島イノベ倶楽部の交流人口拡大プロジェクトの連携事業については、福島イノベ構想の交流人口拡大事業の中で、県及び福島イノベ機構が積極的にPRに取り組めます。

